

令和5年度 西柴コミュニティハウス 事業計画書

1 基本的方針

(1) お客さまの安心と快適 (2)社員のやりがいと成長 (3)グループの永続的発展

私たちは、福祉におけるプロフェッショナルとして、知識と技術、そして誠意と情熱をもって、お客さまの心の満足を目指します。それは、「安全とお客さまのニーズを最優先に行動することであり、私たちを必要とするお客さまは、いつでも受け入れることを意味します。そして、法人を支えるスタッフ一人一人が、やりがいをもって目的目標の達成に取り組めるよう、全てのスタッフは熱意と成果に対して、公正かつ平等に評価を受けます。さらに、もてる能力を最大限に伸ばして成長できるよう能力向上の機会が与えられています。これらの法人の活動を、私たちは永遠に続けたいと願っております。永続的に事業を発展させることは、お客さまへの責任、スタッフへの責任を果たすことであり、ひいては、地域社会に貢献することにつながると考えております。『心の笑顔でひとりひとりを大切に』これが私たちの目標です。グループ行動指針・行動規準に明確に示されており、社員全員に周知徹底しております。

2 施設運営体制

雇用種別	勤務時間	人数	勤務日数
1. 常勤職員	9:00~18:00	1	週5日勤務
2. 常勤パート職員	9:00~18:00	1	週4日勤務
3. 非常勤パート	18:00~21:00	2	週3日勤務

3 運営方針

① 公の施設としての管理

公正かつ適正な利用上のルールやマナーを周知し、また理解を得、利用者の信頼を得て参ります。また、接遇・人権などの研修の徹底による接遇の公平性を確保します。

② 利用者ニーズの把握と運営への反映

地域及び利用者団体等から構成される「貸館交流会」や「ご意見箱」より、利用者からの直接のご意見やアンケート等で利用者のニーズを把握し、運営に反映します。

③ 安全対策

毎月1回事故防止委員会を開き、介護・車輛事故等を確認致します。「事故報告書」・「ヒヤリ・ハット改善提案書」を活用することで、事故の原因と未然防止策を職員間で共有し再発防止に役立てます。

施設全車にドライブレコーダーを設置し、安全運転の励行と事故の事実確認を行

います。

災害時に備え、職員全員が安否参集確認システムに登録しており、震災や風水害時には、安否情報と動員見込み時間を報告するシステムを導入しています。安否参集確認システムは定期的に訓練を行い閉館時には施設長が中心となり迅速に対応できるよう指示を致します。また、閉館時、開館時対応マニュアルを作成し、年に2回訓練を行います。職員1人1人が的確に動けるよう固定した役割ではなく、全員が臨機応変に動けるよう訓練を行います。マニュアルについても、入職時に全員に配布し急な災害時でも迷わず迅速に動けるよう徹底致します。

4 令和5年度の事業運営

① 自主事業

自主事業につきましては、高齢者が参加しやすい「介護予防体操」「脳トレ教室」「食育教室」等の健康維持を目的とした事業と定年後の団塊の世代の男性が社会で培ってきた得意分野を語り合う「談話室」、西柴の歴史を多世代に語り継ぐための「歴史の会」などを企画していきたいと考えております。また、関係機関団体と連携し、子育て中の保護者が孤立しないように保護者同士の交流の場をつくり、同様に障がい児者の保護者が相談や交流ができる場も作っていききたいと考えております。

② 利用者サービスの向上の取組

時代に沿ったコミュニティハウスの提案として、住民同士の交流や自主活動の場とは、別の視点で1人でも気軽に立ち寄れるスペースをつくり、個々の専用画面で映画や音楽・パソコンを楽しめる居場所づくりを考えております。また、視覚・聴覚に障がいのある人も音声ブラウザソフト等を利用し楽しんでいただき、誰もが安心して暮していただける為の交流の場として機能させていきたいと考えております。そして西柴ならではの特色を活かしたコミュニティハウスとして、多くの方に知っていただき利用者サービスの向上へとつなげたいと考えております。

5 職員育成

当法人は、すべての事業を地域の皆さまの生活を支えるための「サービス」として捉え、ご利用者さまはすべて「お客さま」と認識し、「安心と快適」を提供するとともに、お客さまの心の満足を目指して、誠意と情熱をもって取り組む為に新任職員には、5日間の思いやり研修を実施しております。また、新任職員育成の為、サポーター制度を設けております。そして、法人の理念に基づき、目的と目標を明確にして行動指針を定めるとともに、年間事業活動計画を作成して職員の育成と研修を行って参ります。

- 1 新入職員研修、5日間
- 2 接遇フォローアップ研修、年1回
- 3 エキスパートケアワーカー講師（法人で定めた基準をクリアしたもの）
- 4 内部研修会は、毎月1回（職員全員）
- 5 6S研修（作法 整理 整頓 清掃 清潔 習慣）

横浜市西柴コミュニティハウス自主事業計画書

事業名	① 募集対象	自主事業予定額					
	② 募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
Night Yoga 24回	成人	153,632	9,632	144,000	133,632	0	20,000
	20						
	300						
燃焼ストレッチ教室 24回	成人	153,632	9,632	144,000	133,632	0	20,000
	20						
	300						
盆踊り教室 12回	成人	46,092	46,092	0	40,092	0	6,000
	30						
	0						
ワークショップ事業 6回	成人	73,408	13,408	60,000	33,408	20,000	20,000
	20						
	500						
秋祭り	どなたでも	150,000	150,000	0	0	0	150,000
	300						
子ども向け事業 12回	子ども	30,000	30,000	0			30,000
	20						
	0						
歴史を語る会	成人	20,000	20,000		0	20,000	0
	20						
	0						
合計		170,000	170,000	0	60,000	80,000	30,000

横浜市西柴コミュニティハウス自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Night Yoga	<p>目的：地域住民の交流の場づくり、夜の時間帯に開催し、子育て中のママや会社帰りの方も参加できる事を目的とする。</p> <p>内容：ヨガインストラクターによるヨガ</p> <p>対象：成人男女</p> <p>講師：ヨガインストラクター 堀江 直美 先生</p>	<p>月 2 回</p> <p>通年事業</p>
燃焼ストレッチ 教室	<p>目的：地域住民の交流の場づくり、夜の時間帯に開催し、子育て中のママや会社帰りの方も参加できる事を目的とする。</p> <p>内容：音楽に合わせて骨・筋肉を意識した体操。</p> <p>対象：成人男女</p> <p>講師：ヨガインストラクター 堀江 直美 先生</p>	<p>月 2 回</p> <p>通年事業</p>
盆踊り教室	<p>目的：地域住民の交流の場づくり、認知予防や健康づくりを目的とした通年事業として介護予防を目的とする。</p> <p>内容：講師を中心に盆踊りを踊る。</p> <p>対象：成人男女</p> <p>講師：街の先生 五味 八千代 先生</p>	<p>月 1 回</p> <p>通年事業</p>
ワークショップ 事業	<p>目的：地域住民の交流の場づくり、多種多様な事業を開催し、自主化へとつなげる事が目的とする。</p> <p>対象：開催内容により設定</p> <p>1回目：ガーランドづくり</p> <p>2回目：にれけやきの盆栽</p> <p style="padding-left: 40px;">講師：石井造園株式会社 石井直樹 氏</p> <p>3回目：ペットボトルランタン作り</p> <p>4回目：食育講座</p> <p>5回目：音楽好き集まれ</p> <p>6回目：談話室</p>	<p>年 6 回</p>

秋祭り	<p>目的：ケアプラザ・コミュニティハウス・特別養護老人ホーム「シーサイドかなざわ」との施設合同祭を開催し特養に入居されている方も地域の一員として地域の方との交流を行う事を目的とする。</p> <p>対象：地域住民 施設ご利用者さま ご家族さま</p> <p>内容：地域住民や特別養護老人ホームの入居者・ご家族向けに、イベントの開催とさまざまな作品の展示を行う。</p>	10月 年1回
子ども向け事業	<p>目的：養育者と子ども同士、地域住民との繋がりを通し交流の場を提供する事を目的とする。</p> <p>内容：フリースペース</p> <p>対象：未就園児のお子さまと保護者</p>	月1回 通年事業
歴史を語る会	<p>目的：地元の歴史を伝承し、若い世代に繋げることと、参加者同士の交流の場づくりを目的とする。</p> <p>内容：地元の歴史を調べ、紙芝居等を作成し語り部の会をつくる。</p> <p>対象：どなたでも</p>	10月から3回 月1回

令和5年度 「西柴コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書

(2023/4/1~2024/3/31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,800,000		15,800,000		15,800,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	170,000		170,000		170,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	14,000	0	14,000	0	14,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	3,000		3,000		3,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）			0		0	
収入合計	15,984,000	0	15,984,000	0	15,984,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,183,700	0	9,183,700	0	9,183,700	
給与・賃金	8,393,700		8,393,700		8,393,700	施設長1名 常勤時給職員1名 非常勤時給職員3名
社会保険料	360,000		360,000		360,000	
通勤手当	340,000		340,000		340,000	
健康診断費	90,000		90,000		90,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	2,179,500	0	2,179,500	0	2,179,500	
旅費	4,000		4,000		4,000	
消耗品費	501,000		501,000		501,000	
会議ठीい費	30,000		30,000		30,000	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信費	52,500		52,500		52,500	
使用料及び賃借料	35,000	0	35,000	0	35,000	
横浜市への支払分			0		0	
その他	35,000		35,000		35,000	
備品購入費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	電子ピアノ購入
図書購入費	50,000		50,000		50,000	
施設賠償責任保険	144,000		144,000		144,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料			0		0	
リース料	200,000		200,000		200,000	コピー機
手数料	83,000		83,000		83,000	
地域協力費			0		0	
事業費	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
自主事業費			0		0	
管理費	1,870,800	0	1,870,800	0	1,870,800	日常・定期清掃費 光熱水費（ケアプラザとの按分）
光熱水費	960,000	0	960,000		960,000	
電気料金	740,000		740,000		740,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	220,000		220,000		220,000	
清掃費	80,000		80,000		80,000	
修繕費	100,000		100,000		100,000	
機械警備費	88,800		88,800		88,800	機械警備費 6,250 AED 1,150(ケアプラザとの按分)
設備保全費	642,000	0	642,000	0	642,000	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
公租公課	750,000	0	750,000	0	750,000	
事業所税			0		0	
消費税	750,000		750,000		750,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	800,000	0	800,000	0	800,000	
本部分	800,000		800,000		800,000	労務・経理等の本部事務経費
当施設設分			0		0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	15,984,000	0	15,984,000	0	15,984,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組	自己評価
基本方針	福祉におけるプロフェッショナルとして、知識・誠意・情熱をもってお客さまの安全と地域ニーズを最優先とした運営を目指します。また、地域のだれもが住み慣れた自宅で最後まで安心して暮らせるよう地域と連携し包括ケアシステムの構築を目指します。			
運営方針	<p>①公の施設としての管理 公正かつ適正な利用上のルールやマナーを周知し利用者の信頼を得る、また、接遇の公平性を確保します。</p> <p>②利用者ニーズの把握と運営への反映 地域及び利用者団体等から構成される「貸館交流会」や「ご意見箱」より利用者からの直接のご意見やアンケート等で利用者のニーズを把握し運営に反映します。</p> <p>③安全対策 毎月1回事故防止委員会を開きます。ヒヤリ・ハット改善提案書」を活用し事故を未然に防ぎます。また2回は、避難訓練を行い急な災害時でも迷わず迅速に動けるよう徹底します。</p>			
事業運営	<p>①自主事業 高齢者が参加しやすい介護予防体操・子育て支援事業や障がいのある方も参加できる事業を計画します。</p> <p>②利用者サービスの向上の取組 時代に沿った提案として1人でも気軽に参加できるワークショップを開催しますまた、視覚・聴覚に障害がある方も情報が伝わる音声ブラウザソフト等を利用し楽しんで頂きます。</p>			
職員育成	ご利用者さまは、すべて「お客さま」として認識し、安心と快適そしてお客さまの心の満足を目指しています。また新任職員は、5日間の思いやり研修を受けていただき、プロフェッショナルとしての自覚を身につけます。接遇フォローアップ研修年1回、内部研修と6S研修（作法・整理・整頓・清掃・清潔・習慣）を学びます。			
利用者等のご意見	利用者から寄せられた意見・要望		今後の取組	

《自己評価》

A : 計画、目標を上回って実施

B : 計画、目標を保持して実施

C : 計画、目標を下回って実施

※「利用者の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組【改善計画】欄に意見等に対する対応を記載